

収納率100%をめざして

国民健康保険事務担当者研修会



府と本会の共催による国民健康保険事務担当者研修会は、9月2日（木）、3日（金）の両日、ルビノ京都堀川で開催され、35保険者と4保健所から約130名の出席があった。

初日は、京都府医療企画課の高宮課長の開会挨拶のあと、国立保健医療科学院経営科学部経営管理室長の岡本悦司氏が、「特定健診・保健指導とレセプト情報活用」と題して特定健診のもたらず効果について説明した。

また、京都府の講義では、医療企画課豊福参事よりあんしん医療制度について本制度研究会報告書の説明を行った。

二日目は、午前にヤフー株式会社コンシューマ事業統括本部ECオペレーション本部カテゴリ2部官公庁担当の堀博晴氏が「収納改革～新たなる領域への挑戦！！」と題してより確実に収納するためのテクニックを伝授した。

午後から医療費適正化分科会では、本会専任審査員の新井正朗氏が「歯科用語と歯科診療の流れ」と題して、用語説明から丁寧で分かりやすい説明を行った後、本会よりレセプト点検講習会（医科・歯科・調剤）を行った。

また、生活実態把握分科会では、京都地方税機構業務課長の大槻光氏が「京都地方機構の取り組みについて」と題して講演を行った。